

業務の新聞

第46号 2019年 9月 26日

何のために！

皆さん！「変革2027」って“何のために”企画され運用されたのでしょうか？「何を今さら」と思われる方もいらっしゃるかもしれません。

様々な施策が様々な業種で企画され実際に運用されています。そこに起因している「変革2027」であるのですから、私たちは、「何のために！」こだわっていきたいと考えます。

少子化、高齢化そして収入“減”などJR東日本を取り巻く状況は芳しくありません。それでも右肩上がりの成長を望むのが“企業の姿”なのかもしれません。

右肩上がりの成長を望むのは「何のために」なのでしょうか？間違っても「働くもののため」ではないことは、ハッキリしています。

会社は、「変革2027」で社員の幸せの実現は“働きがい”と“労働環境の改善”としているのですから、私たちは働くもののためにシッカリと考え・論じ・仲間たちと共にたたかっていかなければ、会社に与えられた“幸せ”に甘んじなければなりません。

私たちは、月々の給与、ボーナス、手当、労働環境の向上は、もとより仲間たちの声をもとにした施策実施への提言と検証による職場の強化を実現することを目指すことに変わりはありません。

「この施策で誰がしあわせになるのか！」

と地本大会で発言がありました。私たちは、この答えを皆さんとともに探していきたいと思います。

より良い会社と職場を創るためにがんばりましょう！

2020

2020 オリンピック・パラリンピックに関して「準備は整った」「皆さんもプレーヤー」と会社作成のビデオでは話されていました。

2020 東京オリンピック・パラリンピックに関しては、多くの職場では???の声が寄せられています。

- ①終電延長は何時間やるの？
 - ②終電延長はどんな対応体制なの？
 - ③案内はどうなるの？
 - ④「駅サポーター」って何するの？
 - ⑤1000万人って受け入れられる？
 - ⑥駅はもたないだろう？
 - ⑦グループ会社は大丈夫なの？
 - ⑧車両や設備のメンテナンスは間に合うの？
- などなどです。

「会社説明会」では社員の率直な質問に答えることなく、それでも「何かありますか？」と担当者はおっしゃっていました。またまた残念な姿を目の当たりにしました。大丈夫ですか？

職場から

「職場の主演はオレたちだ！」
様々な施策が展開されています。皆さん！展開されている施策の準備はちゃんと出来ていましたか？施策は現実に即していましたか？施策の効力は発揮されていますか？

職場から私たちが声を発していかなければ、否定的な現実であっても「黙して認める」ことになってしまいます。

JR本体であれグループ会社であれ、シッカリと面倒くさがらずに声を挙げて行きましょう。